

# わたなべ英治県政だより

討議資料

発行：渡部英治政務調査オフィス

〈第10号〉

2015年5月

## 「元気の出る大曲仙北・秋田」の実現へ！ 3期目の更なる挑戦！！

皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の県議選では、皆様のおかげにより再度県政の場に送っていただき、県議3期目という責任の重さと、地元の皆様の声を県政に反映することが何よりも大切であることを自覚しております。

とりわけ人口減少対策や農業の再生などの最重要課題に真正面から果敢に取り組んでまいります。

そして、「元気の出る大曲仙北・秋田」の実現をめざし、更なる挑戦として、次の6つの重点施策の実行に向け全力で頑張る所存であります。皆様には引き続き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



感謝の気持ちと初心を忘れず！

### 「元気の出る大曲仙北・秋田」の実現に向けた重点施策

- 人口減少に歯止めをかける  
(若者が定着できる雇用の創出と子育て支援の拡充)
- 強い地域農業の確立
- 医療、介護、福祉の充実
- 農学部誘致の実現  
(実習施設の設置等、受入体制の確立、農業科学館、大曲農業高校との連携)
- 人材育成とスポーツ振興
- 花火産業構想の推進

### 「大曲西道路高架下運動広場」完成間近！ 6月から供用開始予定

冬期間や悪天候時の運動場所として、大曲西道路高架下（大曲飯田地区）を多目的運動広場として整備する工事が平成27年5月中には竣工の予定。

6月より供用開始の予定。

運動広場（2面）：クレイ舗装851㎡×2区画

照明設備：LED投光機（130W）×4器

（1面は夜間使用可能）

※県で整備後、市が継続管理を行う。（無償貸付）  
なお、使用に関する貸出し等の詳細事項については、別途大仙市より周知があります。



■ 完成間近な高架下で工事関係者と

# ～この一年間の主な活動～



～知事を迎えて！ 県政報告会～  
(平成26年4月)



～福祉環境委員会県内調査～  
県立衛生看護学院にて (平成26年5月15日)



～建設部関係現地調査 (福部内川他)～  
(平成26年5月)



～総括審査 質疑～  
(平成26年6月議会)



～わたなべ英治杯グラウンドゴルフ交流大会～  
(平成26年7月)



～“あなたの街で県議会”～  
(秋田市にて) (平成26年8月27日)



～世界自殺予防デー街宣活動～  
(秋田駅にて) (平成26年9月10日)



～総括審査 質疑～  
(平成26年9月議会)



～一般質問～  
(平成26年12月議会)



～知事、副知事と傍聴者との記念撮影～  
(平成26年12月議会)



～“女性の集い”～  
(平成27年2月)



～音楽とトークのひととき～



～友情出演する飯塚さん、藤間さん～



～昭和49年会厄払い梵天を迎えて！～  
(平成27年2月)



～総括審査 質疑～  
(平成27年2月議会)



～川を渡るぼんでんにて～  
(平成27年2月)



～早朝のつじ立ち・思いをアピール～  
(平成27年2月)



～街頭演説 (イーストモール前にて)～  
(平成27年4月)



～当選のダルマ目入れ～  
(平成27年4月12日)



～当選後も街頭でのお礼つじ立ち～  
(平成27年4月13日～)

# 渡部英治の県議会レポート

～総括審査より～  
(27年2月議会)

『秋田の創生について』より2点の質疑の概要を紹介します。////

## 1. 「オール秋田とやる気について」

**渡部**：秋田の創生に関して佐竹知事の「スプリング・フォーラム」にて、「チーム秋田」で頑張るといった知事  
の意思の表示がありましたが、「チーム秋田」と「オール秋田」の違いについて端的に知事  
の思いをお聞かせ願います。



**知事**：どちらかという「チーム秋田」は、気概がある人の組み合わせだと。「オール秋田」の  
場合は、やる気のある人もない人も全部だと。ただ、地方創生の中でも、国もやる気のない者  
にはどうやってもしょうがないと。ですから「チーム秋田」は、やる気のある人が一生懸命チ  
ームを組んでやりましようという、ややそういう意味です。

**渡部**：私は、「チーム秋田」は、県庁が一丸となって、一方「オール秋田」は、県民と一緒に頑張  
っていくといった理解をしている。今議会の代表質問や一般質問において、知事が意識改革の面  
でも、県庁職員も意識改革をしていくと。つまり、人のせいにならないで、みんながお互いに助け合っ  
ていくのだと。それが県民をあげて、秋田版総合戦略を作るといように理解をしたところであります。こ  
れに対する知事の見解は。

**知事**：チームと言ってもそんなに違いません。民間の方々と「オール秋田」でやっていくためには、やっ  
ぱり県庁の各部局が一緒になってやらないと、やる気のある人との連携体制はとれません。ただ、  
どちらかという、県庁だけでチームだという概念を私は持っていません。民間と県庁が一緒  
になってやっていくという意味です。



**渡部**：決め手はやる気、意欲だと私は思うのです。知事は中小企業振興対策でも、やる気のある  
ところに支援していくことを強調しています。つまり、主体性のある自主的なところに支援し  
ていくということでしょう。そこで、秋田版総合戦略を作る中でやる気が最も大事だと思うの  
です。知事！秋田版地方創生を推進するリーダーとしての心意気は、いかがでしょうか。

**知事**：地方の自立を目指す絶好のチャンスととらえ、リーダーシップを存分に発揮していきたい。そのためにも  
心身共にコンディションを保ちながら自然体かつ冷静に、客観的にあらゆる角度からの視点をモットーに、  
意欲的に取り組んでいきます。

## 2. 「農学部誘致について」

**渡部**：高等教育機関の誘致も国と地方の連携プレーだと思えます。その関連で  
伺いますが、秋田県では県立大の大潟村キャンパスに農業学科があるだけです。  
農学部のない実態を教育長はどう思いますか。

**教育長**：県立大学は、農学部という名前ではないが、生物資源科学部という名  
前で4つの学科をもって、いろいろ幅広くやっている。例えば獣医とか、畜産  
とかというものはないが、別の見方をすれば、この先の新しい農業を先取りす  
るようないろんな勉強ができることも考えている。まず、そちらを充実させて  
いくことが、ひとつの大きなポイントになっていると考えている。

**渡部**：農学部については、これまで知事とも何回か議論させていただきました。新年度では、スポーツ合宿と  
同じような「実習・研修体験」に対する補助事業の予算化をしていただき、一歩、二歩前に進んでくれたと  
思います。イコール農学部誘致という意味でないにしても、将来の高等教育機関ということで、秋田県が目  
指す選択肢の中に位置づけてもいいのではないかと私は思っていますが、知事の見解をお聞かせ願います。

**知事**：議員から提案のあった東京農大の関係については、大学との接触をしているが、まず学生には秋田へ  
足を運んでもらい、その中でいろんなきっかけをつかみたいと。また、農業関係の県外大学とのいろんな連  
携あるいは一部の拠点といったもののきっかけ作りというか、繋がりは今から持っていくべきだと思いま  
す。ただ、秋田が米産県だからといって農学部といった短絡的な考えにはならないようにと。むしろ米以外  
のもので、可能性があるとするれば、私どももいろんな面でやりたいと思います。方向性としては、もう少し  
農業の現場に近い分野を強くしたいということは私も考えています。



東京農大オホーツクキャンパス

「わたなべ英治」ホームページ開設中！



わたなべ英治 を 検索 クリック。

「活動報告」「プロフィール」などを掲載しております。

「わたなべ英治後援会」事務所のお知らせ

住 所：大仙市大曲上栄町11-9

(仙北地域振興局の西門向かい)

電 話：0187-66-1700

FAX：0187-73-5625